

不用な木材や使用済みの コルク栓から生まれた文具

「もったいない!」という気持ちから新教材が生まれた。卓球のラケットになるはずで規格外となった木曽ヒノキからつくった「パズルDEにっぽん」。都道府県の地図がパズルになっており、各市町村単位で1ピースに仕上がっている。企画デザインをしている「RE機構」は、心身に不自由なところのある人に対して、独立性・多様性のある社会参加・社会貢献の道を開くことを目的として設立されたNPO法人。このパズルは、各地の障がい者作業施設や障がい者雇用を行う企業で一つひとつ手づくりされ、社会科教材として役立つのが狙いだ。

また、ワインのコルク栓を利用した「地図記号スタンプ」もある。今まで捨てられていたワインなどのコルク栓を持ち手部分としてリサイクルしたもので、持ちやすく押しやすいスタンプとしてリユース。現在は企業・店舗・個人からの寄付によるコルクを使用しているが、今後は全国的なリサイクル運動として呼びかけていくという。



楽しく学べる教材として全国の小学校への普及を目指している「パズルDEにっぽん」

●NPO法人 RE機構

所在地 東京都調布市緑ヶ丘 2-44-5-308

電話 03-5314-2142

URL <http://www.re-kikou.org/>

清酒「虎之児」が緑 探査機「はやぶさ」の帰還祝酒

約60億kmの長旅を終え、帰還した宇宙航空研究開発機構(JAXA)の探査機「はやぶさ」。佐賀県の「井手酒造」は、これを祝して「はやぶさ帰還祝酒」を限定発売した。

実は7年前の打ち上げの際、はやぶさの性能計算書の表紙に同社の主力銘柄である「虎之児」のラベルが採用されたのがきっかけ。ロケットや衛星の打ち上げは失敗は許されず、チームの成功を祈る験かつぎとして性能計算書の表紙に清酒やタバコ、ウイスキーのラベルをもじって使う伝統があり、JAXAの^{もとがわやすのり}的川泰宣名誉教授が、全国の数ある銘柄のなかから「虎之児」を選んだのだとか。

「はやぶさ帰還祝酒」のラベルには、性能計算書の表紙に使用された「虎之児」のラベルと同様の項目を掲げて記載。「材料名キセノン、イオンエンジン総作動時間約4万時間、此機宇宙翔百億里、開封はキュレーション施設にて7年過ぎてから」とするなど、遊び心も満載だ。

性能計算書表紙のニューバージョンをラベルにした「はやぶさ帰還祝酒」(特選酒・18ℓ) 2273円。8月に注文受付終了



●井手酒造有限公司

所在地 佐賀県壱野市壱野町大字下宿乙 806-1

電話 0954-43-0001

URL <http://www.toranoko.co.jp/index.php>